

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 いっぽ		
○保護者評価実施期間	令和8年5月16日 ～ 2026/6/22		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和8年5月16日 ～ 令和8年6月1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 6月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が支援の場にいることにより、支援の内容が正確に伝達できること。	支援は基本的に個別で行っており、かつ保護者が同伴である。したがって、お子さんの様子や発達の状況を専門的観点で、正確に伝達することを意識している。	職員が支援を実施し支援内容について説明することの他に、保護者からのご相談等にお応えすることも意識していきたい。
2	常に理学療法士が在中し、言語聴覚士、臨床心理士も配置があり、豊富な専門職員による多角的な意見を支援に反映できる。	個別支援計画を始め、ケース会議などを職員間で共有し、他職種で連携を取るようになっている。	お子さんの特性や、保護者の要望に併せて専門職員の配置を適切に行なう。
3	広い訓練スペースを子さんが利用できる。	訓練マットや、ブロックを配置するなどして、お子さんに合わせた、環境作りを意識している。	常に複数職員がお子さんの様子を確認しているが、想定外の動きで怪我等が無いように常に意識していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご兄弟で参加できるイベントや、ご家族同士での繋がりを広げるイベント等の、各種家族支援を目的としたイベントが無い。	個別での支援のため、時間、場所の確保が難しく現実的で無いことと、ニーズの把握ができていなかった。	保護者にアンケート等でニーズを把握し、必要に応じて検討していく。
2	HP、SNS等、インターネットを利用した、活動についての発信が乏しい。	支援の中で保護者と接していて、情報が伝達できていると考えており、インターネットでの情報の開示に必要性を感じていなかった。	担当者を選定し、定期的な更新に努める。
3	利用者全員に対して防災訓練を行なうことができない。	災害時の対応や、訓練の実施状況などについて、利用者への告知が不足していた。	訓練方法の検討を行なったうえで、実施した訓練と、災害時の対応などについて、保護者への設営を丁寧に行なう。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 いっぱ

令和8年 6月 29日

公表日

利用児童数

16

回収数

7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7				・日々、行く度に子どもの変化に合わせた活動をしてくださっています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				・お子さんによってはPT訓練で、必要に応じて固定の訓練を行なうことがございます。その中で、お子さんが少しでも楽しんで訓練できる工夫を努めて参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1			6		・現時点では、地域の他のお子さんとの交流は考えておりませんが、ご要望に応じて検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6			1		・支援計画の支援内容について、児発管が説明を行なっております。質問等を承る時間や、お子さまの特性に合わせた支援計画作りに配慮いたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	3		・研修会の実施は検討しておりませんが、毎回の支援の際にご家族のご相談にお答えしたり、療育について丁寧に説明いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	1				・お子さまとご家族に寄り添った支援が提供できるよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2	5	・左記のような機会はなかったが、特に求めているため不満はありません。	・実施の予定はありませんが、アンケートを実施して、ご要望がどれだけあるか把握することも検討しておきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1				・通所した際に相談しやすい環境、体制作りを徹底するとともに、ご自宅にいらっしゃる時でも相談できる体制を整えていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1				・支援実施時に訓練内容のご説明はしております。より正確で簡潔な説明に努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3		1	3		・今後も必要事項の伝達は、HPでは無く連絡帳や、連絡アプリの利用を継続していきます。 ・活動についての公表は一部HP、SNSへの掲載を検討します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			5		・マニュアル等は運営規程同様に、訓練室入り口に提示がございます。 訓練に関しても、定期的の実施しておりますが、ご利用者への周知、説明は不足していたといえるため、改善していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			5		・災害時の避難訓練は、個別支援の影響で実施できる回数に限りがある状況です。回数の増加はできませんが、今後、できるだけ多くの利用者様にご理解いただける方法を検討します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			2		・各種マニュアルは定期的に再考されております。訓練室入り口付近にございますので、ご確認ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			2		・保護者同伴であるため、連絡方法の説明は行なっておらず、事故の未然防止に注力していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1				・楽しく訓練が行えるような工夫を職員一同考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				・子どもの成長の伸びを感じます。 ・親子で楽しみにしております。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 いっぱ		令和8年 6月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・個別支援が主なため、大きくスペースを活用できる。	・運動の際の転倒等のアクシデント。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・1人の利用者に対して複数の職員が訓練を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・机や壁の角には、緩衝材を設置する等、けがの防止に努めている。	・温度の調節が難しい空間になっているため、特に夏場は空調等、熱中症対策を徹底する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・清掃をしっかり行っている。 ・利用者の入れ替わりの際は、おもちゃ、マットなどをアルコール消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・ST訓練、心理相談等、狭いスペースが有効な場合に、相談室を訓練室として使用している。	・保護者が同伴することもあり、こどもが完全に一人になり落ち着く空間が用意できない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	57%	43%	・今回が初回実施。	・今回が初めての実施であるため、今回いただいた評価を共有し、改善していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・振り返りの際に意見交換を行っている。	・今後も職員の専門性を活かした意見交換をしやすい環境作りを心がけたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・未実施	・今後の受審を検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・各職員の専門性をいかして、研修を行っている他、他事業所で行っている研修にも参加している。	・今後、他事業所を招待して、検討会等を実施していく予定。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・弊社HPにて掲載済	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・担当職員のみでなく、職員間で情報を共有しながら作成している。 ・保育所や、他事業所に様子を確認し作成している。	・専門性が高く、保護者に支援計画の意図が正確に伝達できているかが不明。 ・支援計画の説明を丁寧に行う必要がある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・関係機関と連絡を取り合い、特性に合った支援計画を作成できるよう努めている。	・ケース会議を職員間で共有して、担当職員以外も意見ができる場を設けていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		・保護者が同伴していることを活かして、支援計画の意図や今後の療育についてコミュニケーションを行ってきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%	・電子媒体、紙媒体の両方で記録を行なっている。	・フォーマットが固定されていないため、職員間で差異が生じることがある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・活動が単調にならないよう、複数の職員で意見交換しながら立案している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・活動が単調にならないよう、複数の職員で意見交換しながら立案している。	・反復訓練が必要なお子さんに対して、飽きが生じない工夫を考えていく必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	71%	29%	・個別訓練が主であるが、保護者や職員が複数いることで議事的に集団活動となっている。	・複数の子どもでの集団活動は実施が無く、子ども同士の対人活動が必要な場合、弊事業所では厳しいといわざるを得ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		・事前の打ち合わせ内容を、訓練時に保護者に説明することができると尚良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・打ち合わせ後連絡帳を通じて、気になった点を保護者と共有している。	・連絡帳として使用しているソフトウェアが最適なのかどうか検討を行うべき。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・療育ごとに必ず記録を残しており、職員間での共有もなされている。	・専門性をかみ砕いた上で、保護者にも共有することも考えていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・相談支援事業所等、各施設と連携して行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・担当職員のみならず、必要な資格者が同行して会議を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	・協力医療機関や保健センターから紹介を受けることも有り、連携が取れている。	・特定の関係機関以外にも連携を取れるよう、体制を整える努力が必要。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	・他事業所と連携をとり、利用者にとって最適の支援が実施できるように配慮している。	・今後も地域の他事業所との連携を密にしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14%	86%	・現在、就学移行のケース無し。 ・他事業所への移行は情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	71%	29%	・心理士、理学療法士の療育に見学させていただくなど実施。	・今後つくしんぼ様が新規展開するコンサルティングの利用を検討中。 ・移行児の増加も今後見こまれることから、もっと密に連携を取っていくべき。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	57%	43%	・療育、活動の一環で公園等に行き、交流が生まれることもある。	・子ども同士の交流の場を貴買うしていくべきだと思う。 ・個別療育が強みであるため、今のままで良い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・保護者が同伴し、療育中も同席していることから、状況の共通理解は翌されていると考える。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71%	29%	・研修は実施していないが、一方で日々の療育の際に、訓練の意図、ご自宅でのやり方をレクチャーしている。	・テーマを設定して、保護者向け研修を実施することも検討していくべき。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約児の説明の他に、事業所内入り口付近に提示が有り。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・支援計画作成時は、案の作成後、保護者と協議し加筆、修正等を加えた後本案としている。	・子どもの成長が早く、一週間も経てば内容の修正が必要な場合があり、キリがない。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・保護者同伴であることから、来所時は担当職員以外にも、専門職員と相談する時間がある。	・口頭で受けた相談等、全てに記録を残すことは難しいため、その場にはいない他職員との共有がしきれていない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14%	86%	・基本的に保護者同伴であることから、保護者会等の実施はしていない。 ・ご兄弟で療育を受けることは可能であり数件事例がある。	・同じような悩みを抱えている保護者同士を繋げる場を設けたりすることも、保護者の声を基に検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・対面して相談を受ける他に、外部サイトの連絡帳を利用して相談が可能。	・弊事業所以外にも、相談できる施設は多数あり、適した相談先をリスト化して紹介していきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	86%	14%	・定期的にＨＰの更新を行っている。	・保護者等が児発的に確認しないと閲覧できないため、更新の際は通達することを検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・言語聴覚士や心理士に接し方や話し方の指導を受けている。	・職員ごとに接し方に差異が出ないように注意する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%	・同地区の他事業所との連携や、地域の子どもの利用する施設、市役所等と連携を取っている。	・地域住民との交流が図れる企画運営を意識していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%	・事業所内入り口付近に、まとめて提示しており、手に取れるようになっている。 ・職員、利用者共に定期的に防災訓練を行っている。	・個別利用が主なため、利用者全体に防災訓練を行うことは現実的に厳しい状態であり、口頭での説明のみの場合もある。 利用者全員に訓練を行なうことは、難しいが、周知の徹底に努める必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86%	14%	・研修と訓練を年に一度、実施している。	・常勤職員と非常勤職員で理解に差が生じないように注意して実施していきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・保護者に聴き取りを行なう他、必要に応じて主治医、医療機関から情報を得ている。	・てんかんや、アナフィラキシーショックの際の対処法を看護職員等専門職からの研修があると良い。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	14%	14%	・事業所内で食事の提供は行なっていない。	・災害時の備蓄食料などが、アレルギーに対応してるか確認する必要がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・年に1度確認した上で、それに基づき研修等を行なっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	71%	29%	・安全計画の作成、掲示と訓練を実施しているが、訓練に関しては、利用者全員に対して行っていないのが現状。	・訓練の実施を報告する形式を取るのか、多くの利用者が訓練を行える方法を新たに模索するのか、職員間で検討する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・療育終了後に、支援記録の作成とともに、ヒヤリハット報告も行なっている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	86%	14%	・年に複数回虐待防止研修を実施している。	・全職員が徹底して周知していなければならぬ内容であるため、回数を増やすことや、個別に実施することを検討する。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	57%	43%	・虐待防止研修同様に年に複数回、研修を実施している。	・職員にPTが多く、療育の際には身体接触が基本的に発生するため、虐待防止研修同様に、徹底した研修を行なう。